

社員やその家族を大切に、
そして、地域社会に貢献する
このような情熱があれば、
「お客様に寄り添った気持ち」で
商品をお届けできると思います。

そして、コロナ禍で学んだことは
「寄り添う気持ち」をさらに前へ進めて
この気持ちを実現する勇気こそが、
今こそ重要と教えられました。

2022年秋

株式会社 ユタカ
代表取締役

大西 日出機

社内一貫生産
だからできる!

徹底した品質管理
最短 当日発送
1枚から製造可能

沿革

- 1977年 6月 豊産業として創業
- 1978年 6月 有限会社 豊産業として設立
- 1985年 9月 東京営業所設置(未登録)
- 1989年 9月 株式会社 ユタカに社名変更
- 2000年 6月 東京支店新設
株式会社ユタカ東京支店として登録
- 2001年 12月 普通寺物流センター新設
(普通寺市下吉田町2,786㎡)
- 2005年 4月 オリジナルタオルweb販売店「たおる本舗」の開始
- 2006年 10月 ISO9001:2008 認証取得
- 2008年 7月 クレジットカード決済の開始
- 2009年 6月 オリジナルTシャツweb販売店「Tシャツ本舗」の開始
- 2011年 3月 プリント工場新設(建屋面積2937㎡)
太陽光発電設置(発電能力30kw)
本社⇄東京支店 テレビカメラ設置
- 2013年 8月 自動ラック管理倉庫(470㎡)新設
- 2016年 4月 本社 普通寺市下吉田町に移転(建屋面積 約1400㎡)
- 2016年 4月 社員食堂開始
- 2017年 9月 焼きたてパン工房ゆたか 開業
- 2017年 10月 銀行保証付私募債導入(中国銀行 保証付)1億円
- 2018年 2月 LED菜園開始(閉鎖型10㎡ レタス・バジル等)
- 2019年 5月 東京支店 千代田区神田三崎町に移転
(VORT水道橋II3階フロア部分購入 110.87㎡)
- 2019年 8月 駐車場増設 普通寺市下吉田町(6136㎡)
- 2020年 8月 事業所まるごと健康宣言 認証取得
- 2021年 7月 LED菜園新設(閉鎖型40㎡ イチゴ専用600株)

会社概要

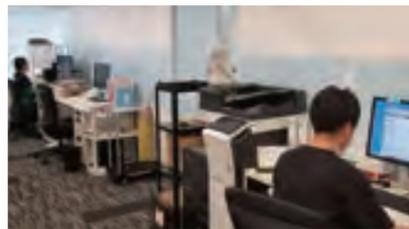
会社名	株式会社 ユタカ
代表者名	大西 日出機
本社所在地	香川県普通寺市下吉田町151番地
支店所在地	東京都千代田区神田三崎町3-3-20 VORT水道橋II3階
人数	88人
資本金	2,000万円
取引銀行	中国銀行 普通寺支店 商工中金 高松支店
業務内容	オリジナルタオル・Tシャツの製作 業務用タオルの製造卸販売 タオル類の輸入業 web通信販売店 たおる本舗・Tシャツ本舗の運営
2021年度製造実績	11,078件/225万枚以上(タオル・Tシャツ)



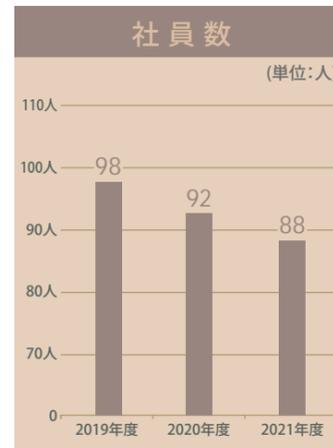
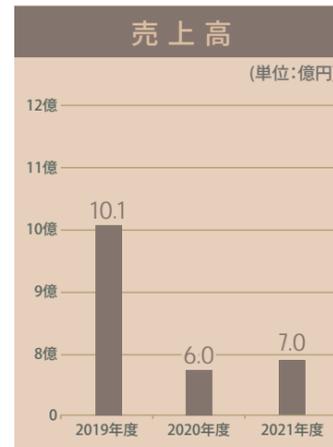
本社



フルカラープリント・縫製工場



東京支店



機械設備

- 1995年 3月 シルクスクリーン単色印刷機 2台
- 1996年 6月 型版用型ネット張機 1台
- 1996年 7月 スクリーン版乾燥機 1台
- 1996年 9月 中型露光機(焼付け機) 1台
- 2002年 5月 熨斗及び封筒印刷機 各1台
- 2003年 3月 シルクスクリーン単色印刷機 1台
- 2004年 4月 タオル用真空圧縮機 1台
- 2004年 6月 シルクスクリーン3色印刷機 1台
- 2007年 9月 プリントタオル用 大型乾燥機 4台
- 2008年 5月 タオルプリント 単色印刷機 2台
- 2008年 6月 廃液処理機の設置、大型露光機 1台
- 2008年 7月 大型自動6色印刷機 1台
- 2008年 9月 大型ポジフィルム出力機 1台
- 2009年 2月 自動6色印刷機 1台
- 2009年 8月 スクリーン印刷大型紗張り機 1台
- 2009年 9月 インクジェットタオル印刷機 1台
- 2010年 4月 人荷用エレベーター設置
工場内 空気清浄装置
- 2010年 6月 タオルプリント自動3色印刷機 1台
- 2011年 3月 大型 自動6色印刷機 1台
自動紗張機 1台
廃液処理装置(1.5t) 1台
- 2011年 4月 製版用大型乾燥機 1台
タオル用大型乾燥機 1台
シルクスクリーン単色印刷機 3台
- 2011年 5月 製版用大型コーティングマシン 1台
製版用大型洗浄乾燥機 1台
大型露光機 1台
新工場内空気清浄装置
- 2012年 1月 大型自動多色印刷機 2台、刺繍機
- 2012年 5月 大型インクジェットプリンタ(KONICA MINOLTA) 2台
タオル用蒸し器 2機、全自動洗濯脱水機(50kg) 1機
ボイラー(ガス用)800kg/h 1機
ガスタンク980kg 堅型 1台
乾燥機(40kg)1機、集塵機 1機
メロー自動機 1機、メローミシン 3機、本縫いミシン 2機
品質表示タグ印刷機
ダイレクト製版機 1機、暗室 2組
工場内環境整備/空気清浄(シロココ・ダクト増設)
- 2013年 1月 廃蒸気熱交換器(水と熱が再利用できる環境に配慮した機械)
- 2013年 3月 CCM(コンピューターカラーマッチング)
調色機(AUKITCHEN-C52)
- 2013年 7月 メロー縫製自動ミシン 1機、本縫いミシン 2機
- 2013年 8月 自動可動式倉庫の建設
- 2013年 11月 検針機 1機、刺繍機 2機
- 2014年 4月 ダイレクト製版機 2機
- 2014年 6月 自動大型6色印刷機(オーバル) 1台
- 2014年 7月 タオル用乾燥機(BOX型) 2台
- 2015年 6月 メロー大型自動ミシン 1台
タオル自動たみ機 1台
- 2016年 5月 自動大型6色印刷機(オーバル) 1台
- 2017年 2月 脱臭機能付き空気清浄機 7台
- 2017年 4月 縦筒偏平縫ミシン 1台、2本針2重環縫ミシン 1台
ネックバンド専用ミシン 1台、オーバーロックミシン 1台
リボン付け専用ミシン 1台、本縫い用ミシン 1台
- 2017年 6月 自動大型6色印刷機(オーバル) 1台
- 2019年 2月 メロー縫製自動ミシン 1機、本縫いミシン 2機
- 2019年 5月 インクジェット印刷機(顔料) 1台
- 2020年 1月 インクジェット印刷機(染料) 1台
- 2020年 2月 前処理連続乾燥機 1台
- 2021年 4月 デジタル捺染用前処理装置 1台
- 2021年 11月 インクジェット印刷機(染料) 1台
- 2022年 2月 染料インクジェット用連続スチーマー 1台
- 2022年 7月 全自動洗濯脱水機(50kg) 1台
蒸気式タンブラー乾燥機(40kg) 1台
レガープレス機(小)(大) 各1台
全自動電気蒸気発生機 2台、軟水器 2台、ピーカー洗浄機 1台
- 2022年 8月 メロー縫製自動ミシン 1機

2011年3月より稼働の新プリント工場は、
太陽光発電で消費電力の一部を補っています。(30kw)
小さな一歩ですが、未来のためにできることから
始めていきたいと思えます。

環境と生産が
共存できる
モノづくりを
目指す。



部門ご案内

株式会社 ヌタカ



廃蒸気熱交換器 導入

ムダに捨てられるエネルギーの再利用
廃蒸気熱交換器を導入しました。
フルカラープリントタオルの場合
蒸し→洗い→乾燥といった工程があります。
その蒸しの段階で、湯気(ゆげ)が発生します。
この湯気を大気に撒き散らすことなく
その一方でムダに捨てられる湯気の熱を温水に
変換し、その熱エネルギーを
洗濯(洗い)等に再利用します。

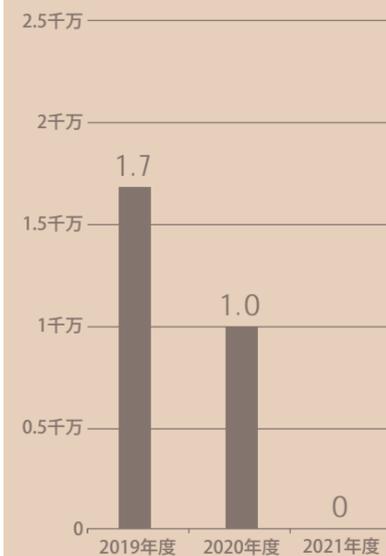


空気清浄機 導入

プリント、加工時に発生する空気中の繊維粉じん
やホコリをカットし快適な職場環境を維持する
ことで生産効率を上げる役割があります。

環境設備費

(単位:千万円)



営業部
編集部

オリジナルタオル・企業用名入れタオルの製作
たおる本舗
Tシャツ本舗
<https://www.yutaka-towel.com>
<https://e-tshirt.jp>

営業

お客様から受注

お電話・ホームページ・ご来店
主にホームページからの注文に対応します
そのほか、お客様からのお問い合わせに電話
メールにて対応します
ご来店のお客様には、実際にサンプルを
見て頂き相談しながらご注文して頂きます

編集

Illustrator
Photoshopで
デザインを作成

お客様からのご入稿データや
手書きのイラスト、イメージ画像など
から編集部で加工してタオルに
プリントできるデザインにします

営業



校了

お客様から確認の連絡が取れ次第
営業部は発注書などの必要書類を作成します
編集部は、タオルに印刷するために
最終データを次の部門へ引き継ぐ
準備にとりかかります

お客様に デザインの確認

お客様とデザイン校了まで
メール・電話で対応します
修正やデータ差し替えの場合
編集部担当者へ依頼します

経理部



日々のお金の動きを管理
**未来へ、
大事な資料作り**

数字の集計は過去の集計ですが
それを元に将来の目標を立てる事
ができます
経理部では、前月の試算表は
次月の3日以内に全社員へ発表します

渉外部



**対外的な交渉に
従事します**

取引銀行・保険会社のほか、外部の
企業や関係者と連絡を取り合ったり
営業職のような交渉を行います



ユタカ食堂の 特徴

- 食堂運営は社員が責任をもつ
- 地産地消であり、近隣の農家の方に野菜や米を耕作していただく
- 肉、魚、乾物等は地元(善通寺市)の業者と取引をする
- 製麺機を導入して、うどんやラーメンは小麦粉から作る

5 社食の 条件

- 第一に、自社運営である
- 第二に、食堂部員は社員である
- 第三に、継続は社員の力
社員の責任である
- 第四に、地産地消である
- 第五に、無償提供である



東京支店

- 「同じ釜の飯」主義である
- 本社(香川県)のメニューを真空冷凍
パックして週2回東京支店へ発送する

食堂部



社食の すすめ

- ① 社食は、会社を守ります
- ② 社食は、社員の健康を守ります
- ③ 社食は、社員を育てます
- ④ 社食はつくるも食べるも
社員の戦いです
- ⑤ 「社食5条件」は
ユタカの財産です

社食に 未来を 感じる

- 社員間にコミュニティや笑顔が増え
明るくなった
- 周辺地域の人たち、特に農家の
人たちとは交流が深くなった
- サラダバーで毎日野菜を楽しめ
健康管理にも寄与
- 無償提供なので、従業員の経済的負担
も軽くなり、結果的に離職率の低下にも
表れてくるのでは



食堂部とは?

- 食堂部は営業部や生産部と平等である
- 大きな違いは、戦う相手が違う
- 他部門の戦う相手は「商品と顧客」、食堂部は「社員の健康」と戦う

製版部
調色部
シルク印刷部
生地管理課
乾燥部

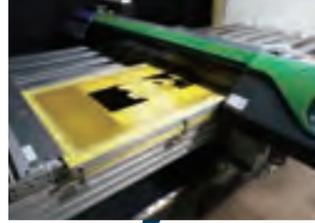
紗張り、型版の制作

デザイン・生地に合わせた「紗(しゃ)」を選定し、硬度計で計測してからアルミ枠に張ります。感光乳剤を塗り、フィルムレス印刷機でデザインデータを印刷します(プリントの色ごとに制作3色プリント→版を3枚)。その後、全自動現像製版機で現像します。

製版



紗(しゃ)張りのようす



全自動製版機で現像



水で型を抜き、版を作ります

乾燥

乾燥機へ入庫

プリントしたタオルにインクを定着させるため、乾燥機で100度、約60分乾燥させます



7台がフル稼働(乾燥機)

取り込み

乾燥機から出庫

十分に乾燥させたタオルを1枚ずつ丁寧に取り込み、次の工程の部門へと運びます



取り込みをしながら同時に商品チェック

加工

加工部へ

枠ありプリント、名入れのタオルは加工部へ

縫製

縫製部へ

全面プリントのタオルは縫製部へ

生地管理

在庫管理を徹底

たおる本舗では国産とベトナム産の2種類の生地を仕入れています。無駄の無いよう、在庫管理は毎日必ず確認します

印刷

枠ありプリント、全面プリント
名入れタオル

タオルにプリント

デザイン、プリント色の確認後、オーバル型印刷機で仕様にあった調整をしてプリントします。1色プリントは単色機で、2色プリント以上はオーバル型印刷機を使用します。繁忙期は1日に全種類合わせて約1.5万~2万枚プリントします

調色

色合わせは知識と経験が必要

過去のデータを元に再現度の高い調色をしています。また、プリントするタオルに合わせて色の微調整もします



インクを計量し、混ぜます



カラーチップ



バスサイズタオルのプリント



名入れタオルのプリント



2色プリント

最新システムの取り組み

可動式倉庫の導入

この自動ラック(可動式棚)の役割は製品管理の徹底、品質向上にあります。もっとも重要なことは社員の労働軽減に寄与していることです



世界に一つの大型ロボットミシンが稼働

ユタカ・オリジナルの全自動縫製機。バスタオルサイズまで自動縫製可能で、生地を回転させながら四方を縫製します

焼きたて
パン工房
ゆたか



タオル屋がパン屋を 開店した理由

北海道産小麦粉と無添加生地 LED菜園の野菜といちご

最近は大きな災害や不況が、人や企業を苦しめます。ユタカは「社員を大切にする」と宣言していますが巨大な自然災害の前には無力です。一つを極めることも大切ですが今や、それだけでは大切な社員を守ることができません。その厳しい自然と戦うために、タオルと真逆の食品であるパンを選びました。食品事業は、たとえ大きなダメージがあっても復活が速く、災害時には社員を救うだけでなく地域の皆様にも貢献できる業種だと考えています。

2017年9月1日、株式会社ユタカ本社・敷地内にオープン。国産小麦100%無添加生地にこだわった、パン&ナポリピッツァ。シックで落ち着いた雰囲気のカフェで素敵なひとときを。パンの種類は30種類以上。旬の素材を使った期間限定商品も続々と販売中。パンのみご予約も可能。また店内にはピザ専用窯も設置しており焼きたてのピザをイートインにてお召し上がり頂けます。テイクアウトも可能。



LED 水耕栽培



LED水耕栽培

姫ゆたか

LED水耕栽培は、無農薬で人々に優しい栽培方法です。人々に合わせて、まるで工場のように管理できます。これまでの農業は、人々が作物に合わせて耕作しなければなりません。LED水耕栽培は、週休2日制や年末年始など長期休みに合わせてつまり社員の生活に合わせて収穫活動ができます。私たちは2018年2月から、このLED水耕栽培に挑戦しております。そして野菜やいちごの収穫物は、「姫ゆたか」のブランドとして店産店消スタイルで、全て「焼きたてパン工房ゆたか」で消費・加工販売しております。



2018年2月に完成したLED菜園です。土を使わずにLED光と水と液体肥料だけで育てる栽培方法。利点は成長が早いこと、害虫駆除をしなくて良い、室内で栽培できることです。初収穫は2018年3月に成功しました。

現在社内に3カ所、面積は合計約67㎡。主にバジル、フリルレタス、グリーンリーフ、スイスチャード、いちごを栽培しています。毎朝収穫し、サンドイッチや野菜サラダ、ピザに使用しています。収穫してすぐ使用するので新鮮さは抜群、味も濃く栄養も満点です。

無農薬、水耕栽培、太陽光線を利用しない人工光型 LED菜園 いちご 葉物



焼きたてパン工房 ゆたか

〒765-0021
香川県善通寺市下吉田町151番地
TEL/0877-85-3536

営業時間/11:00~15:00
ピザご注文は10:45~

定休日/日曜日・月曜日
<https://yutaka-pan.com>

@yutaka_pan

東京で、
生産工場の
臨場感を

東京支店

政治、経済、文化等の中心地、東京で



イノベーションが盛んなこの地で切磋琢磨し事業を継続することで日本中の、そしていつか世界中のみなさまに必要とされる企業になることを目指します。私たちは東京支店を重要拠点ととらえ、お客さまにはより安心できる対応を目指したく、東京・水道橋に自社所有オフィスを構えました。(2019年5月)

東京にいなから 製造工場へ



東京支店

本社工場
(善通寺市)



当社では2011年、タオル印刷工場にテレビカメラを設置しました東京にいなから、本社(善通寺市)のプリント現場をリアルタイムで確認することができます。その他、製品の品質向上、安全の為に役立っています。

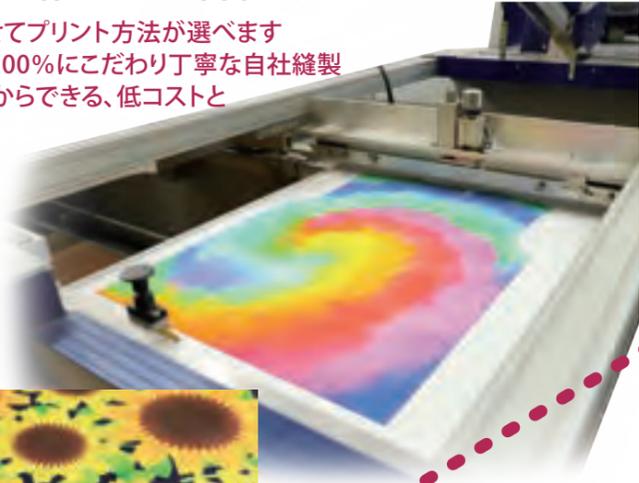


印刷 オーダーメイド フルカラーTシャツ

新規導入した、最新型インクジェットプリンター
600dpiヘッドでプリントすることで
グラデーションの表現やシャープで鮮やかな写真などが
360度Tシャツ全体にプリント出来ます

デザインに合わせてプリント方法が選べます
生地は日本製綿100%にこだわり丁寧な自社縫製
社内一貫生産だからできる、低コストと
徹底した品質

自由度最大級
オーダーメイドTシャツ



生地に下処理



最新インクジェットプリンター使用



鮮やかな発色、グラデーションも
表現可能



タオルのやさしい風合いを残し
美しいグラデーションの
表現が可能

印刷 フルカラープリント (タオル)

フルカラープリントは専用の
プリント機にデータを取り込み
タオルにプリント→蒸し→洗い
→乾燥機→裁断の
工程を経て縫製部へ



フルカラープリント(タオル)



洗い

印刷 シルクTシャツ

製版部で作成した版を使い
インク調色、全て手作業で
Tシャツにプリントします
約10分乾燥し加工部へ



全て手作業でプリント



ミニハンカチ四方自動メロウ機



ネーム刺繍

Tシャツ縫製

タグ付け

縫製 刺繍

縫製が必要なタオル・Tシャツ類
縫製、刺繍、タグ付け

全面プリントタオル端の縫製、ヘム部分の縫製
ネーム刺繍やオリジナルタグの縫い付けをします
オーダーTシャツは、襟、リボン(裏地)、袖わき
そで口、裾の順で縫製をします

取り込み

枠ありプリントの
タオル、手ぬぐい

枠ありプリントの商品は
取り込みから加工部へ

加工

各部門から加工部へ
袋入れ・のし付け
検品後、梱包

1枚ずつタオルやTシャツの最終検品を
した上で、仕上げに入ります
納品形態に合わせて折り、のしを付け、梱包
当社では、内職の方も社員と一緒に
現場で作業します



化粧箱入り



のしを付けて袋入れ

発送

いよいよ最終段階
発送準備へ

発送部は梱包された商品を
管理し、納品先納品日に合わせ
発送伝票の作成発送準備をします

完了!

発送完了

以上で全ての工程が
終了しました

